

長野市観光情報センター再整備 に係る実施設計(案)について

平成26年7月11日 第1回観光振興専門分科会(資料8)

1 コンセプト

長野駅は、新幹線の延伸により、これまで以上にハブ駅としての機能が求められる。そこで、長野市観光情報センターの再整備に当たっても、広域観光に対応できるように情報発信・案内機能を強化するとともに、隣接する「ベックスコーヒーショップ」と一体的なものとし、寛ぎながら必要な情報を手に入れていただくことができるラウンジ的な機能を持たせた空間を整備するもの。

2 主な機能強化の内容(ソフト)

- (1) 案内できる範囲を現状の長野市周辺から東中北信地域へと拡張する。
- (2) 二次交通の切符の販売、手荷物宅配サービス、アクティビティカウンター(体験メニューの予約)新設等、ワンストップサービス化を図る。
- (3) イメージの向上と圏域内での滞在を促す効果的なプロモーションを行うため、視覚的に訴えるディスプレイ及びデジタルコンテンツを活用する。

3 主な施設の特徴(ハード)

- (1) 案内機能の強化に合わせて床面積を現状の111m²から約160m²へと拡張し、パンフレットラックの増設とサービスカウンターの拡張を行う。
- (2) 季節の展示スペースや展示台等を配置し、寛ぎとゆとりのある演出空間を確保する。
- (3) ベックスコーヒーショップとの間仕切りを取り払って相互に行き来できる仕様とし、さらに共通の内装仕上げとするなど、一体的なものとする。

4 再整備工事に係る概算経費

124,948千円

(平成26年5月時点実施設計による)
(机、いす等の調度品に要する経費を除く)

5 工事スケジュール

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
引越し		仮びゅうプラザへ				
本体工事						
運営						

6 運営体制

- (1) 現在、(公財)ながの観光コンベンションビューローで嘱託職員3名・臨時職員3名、北信濃観光連盟で嘱託職員1名を雇用し、常時2~3名のシフトを組んで、運用している。今後、案内の可能域を拡張するのに伴い、(一社)信州・長野県観光協会の職員2名を加え、3~5名のシフト体制とする予定。
- (2) 現在の営業時間(9時~18時)について、ハイシーズンには、必要に応じて前後1時間延長する。

7 ベックスコーヒーショップとの 一体施設の愛称

おいでなして！ NAGANO